

平成 27 年度 第 1 回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

1 開催日時

平成 27 年 6 月 1 日（月） 15 : 00～16 : 30

2 開催場所

札幌市役所本庁舎 14 階 1 号会議室

3 出席者

(1) 委員

蟹江委員長、阿部委員、中川委員、武者委員、山本委員

(2) 札幌市職員

財政局契約管理担当局長、財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局契約管理課長、財政局工事契約担当課長、財政局技術管理課長、財政局建築設備検査担当課長、水道局総務課長、病院局経営企画課長 他 9 名

4 次第

(1) 開会

(2) 財政局契約管理担当局長あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 事務局からの報告

ア 政府調達の状態等について

イ 参加停止措置状態について

ウ 工事等発注状態について

エ 工事検査について

(5) 平成 27 年度委員会開催予定について

(6) その他

(7) 閉会

5 審議概要

(1) 事務局からの報告

ア 政府調達の状態等について

【委員】 平成 26 年度は随意契約の件数、金額ともに増加しているがなぜか。

【札幌市】 一部の業務について、これまで単年度ごとに契約していたものを 26 年度からは債務負担を活用して 27 年度分を 26 年度中に契約するように改めたため。同じ業務について 26 年度分と 27 年度分を重複して計上している。

【委員】 WTO 案件について、随意契約の相手方はどのような基準で選定しているのか。

【札幌市】 特例政令の規定に基づき調達している。

イ 参加停止措置状況について

【委員】 独占禁止法違反の場合、措置期間はどの程度になるのか。

【札幌市】 本市との契約において違反した場合は 24 カ月であり、本市との契約でない場合は 4 カ月以上 18 カ月以内である。

ウ 工事等発注状況について

【委員】 業務の調達について平成 25 年度と平成 26 年度を比較すると、入札件数は減少しているが契約金額はほぼ横ばいである。この理由は何か。

【札幌市】 平成 26 年度は規模の大きい業務が多かったため。

【委員長】 業務について、測量と地質調査のくじ引き発生率が 9 割以上となっており、価格競争とは言えない。

【札幌市】 事業者の積算精度が一段と向上し、非常に厳しい競争環境になっていると認識している。

【委員】 積算に用いる単価を隅々まで公開していれば、事業者の積算精度が向上するのも当然という気がする。

【札幌市】 札幌市として情報公開を基本とする考え方のなかで、工夫してくじ引き対策を含め入札・契約制度の改善に取り組まなければならないと考えている。

【委員】 建築や電気工種におけるくじ引き発生割合が相対的に低いのはなぜか。

【札幌市】 営繕工事は個別に見積を徴収して策定した単価を用いることが多く、これら個別見積りの単価は入札時の際に公表していないため。

エ 工事検査について

【委員】 工事成績評定の平均点が年々上昇傾向にあるが、工事の品質が向上していると解釈してよいか。

【札幌市】 お見込みのとおり。

(2) 平成 27 年度委員会開催予定について

今年度の委員会開催予定について決定した。

(3) その他

次回の抽出工事の選定は蟹江委員長が行うことを決定した。